安全だより

令和4年12月
発行:安全委員会

【安全委員の一言】

先日、目と鼻の先の職群で転倒事故が起きました。一緒に勤務していた女性に話を聞いたところ、飛んできた蜂を追い払おうとして転倒し、肩を骨折してしまったようです。最近のデータでは屋内外の業務を問わず、事故のトップは転倒によるものです。これから寒い日が続く毎日、始業前にストレッチをして脚の筋肉をほぐしましょう。また自転車通勤の行き帰り、特に落葉の道は滑りやすいので、転倒に注意！です。

安全委員　野滝　英昭

●2022年10月に発生した事故情報●

計 4件

賠償事故(2件)

日時	事故区分	事故発生の状況	賠償額	業務内容
10月20日(木)	就業中 【78歳男性】	芝刈機を使用した除草中に機体を浮かせたため、飛石により窓ガラスを破損した。	16,170円	清掃・除草作業
10月23日(日)	就業中 【77歳男性】	電動トリマーを使用した植木剪定作業中に誤って電源コードを切断した。	–	植木剪定作業

傷害事故(2件)

日時	事故区分	事故発生の状況	傷害の症状	業務内容
10月10日(月)	就業中 【76歳男性】	就業中に蜂が接近してきたため避けようとしたところ、雨で濡れた路面に足を滑らせ転倒。鎖骨周辺を複雑骨折した。	骨折 全治4ヶ月	自転車整理業務
10月27日(木)	経路途上 【67歳男性】	就業後自転車で帰宅途中、左折しようとしたところ、後方から自転車に追突されたが、本人は怪我はなかった。	–	学童擁護業務

今年の冬はいつもより寒い？

✦ 前回の積雪時はどうだった？

・令和４年１月６日の積雪時、都内センター会員の雪に関連する事故は 40 件を超え、約半数の方が骨折しました。前々日頃から明らかな大雪予報が公表されていましたが、このような結果でした。「雪が積もる」とわかっていたのに自転車で出かけた方、いつもと同じ靴で出かけた方、雪を甘く見ていたと思わざるを得ない事例ばかりでした。

✦今回の冬はどうなる？

・気象庁の「寒候期予報」は、12～2 月は「東日本太平洋側の降雪量は平年並か少ない」との内容でした。極端に寒い、大雪が･･･という予報ではないようですが、油断は大敵です。

✦ どう備えるべきか？

・今夏は熱中症事故が昨年の４倍に達した酷暑でしたが、実はこれも長期予報でおおむね予測されていましたが防げませんでした。酷暑や大雪に対する「危険予知」は簡単ではありませんが、一人ひとりができる対策もあります。

例えば、これ↓ひとつポケットに忍ばせていれば、1/6 の事故件数はもう少し減ったかもしれませんね。　ぜひ今年は早めの冬対策を！

靴に巻き付けるタイプのゴム製簡易スパイク(滑り止め)

丸めればポケットに入り、取り付けカンタン。そして安価。シーズンに入ると売り切れることもあるので早めの用意がおすすめです。

(写真のものは、税込み800円程度)